

ますはら

「隣人を喜ばせる」

「私たち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。おのおの、互いを築き上げるために善を行い、隣人を喜ばせるべきです。」

(ローマの信徒への手紙 第15章1～2節・新約聖書289頁)

はじめに

信仰生活が長くても、振り返ると情けなさでいっぱいになります。パウロはローマにできた教会の信徒たちが未熟なことを心配し、前半では教理について、そして後半では実際の信仰生活にふれ、励ましています。パウロは、私たちの欠点や短所と思われるものをも、神はその深い憐れみによって、私たちを「義のための道具」として用いてくださること、そして、それだけではなく、聖霊が私たちを執り成し続け、絶えずサポートをしてくださるのだと教え、その上で、私たちがなすべき使命を明確に示しています。

強い者

ここに「私たち強い者は」とあります。恐らくこれだけ聞くと、自分の信仰姿勢を思い起こしながら、「私は強くありません」と反論されるでしょう。しかし、文脈からすると、この強さは「揺るがない確信」を持つことの強さです。つまり、「『神を信じて生きる』という、私の生き方に迷いはない。」と言い切れる人をさしています。いまさら確認すべきことではありませんが、私たちは毎日、「神が共におられる」ことを喜び、力を得て歩むべきです。

強くない者の弱さを担う

人生は神と共に生きることであるとの答えを持っている私たちは、一步、また一步と神の導きによって確実に前に進むことができます。それとは逆に、何を頼って良いか分からず、人生が定まらない「弱い者」がいます。私たちの使

命は、この「弱い者」の弱さを担うことなのだ
とパウロは言いました。この弱さとは14章だけを考えてみても、生活への不安、人間関係の悩み、誠実に生きようとする事から来る空しさや良心の呵責、自分の生き方への迷いなどがイメージされます。これらの問題を抱えている人たち、つまり、その人の未熟さをさげすんだり、信仰がないからだ、と、一刀両断さばいたりするのではなく、理解し、寄り添っていくのがパウロが言った「担う」です。

隣人を喜ばせる

ここでパウロは「キリストもご自身を喜ばせようとはなさいませんでした」と、模範の姿勢を示しています。そのために「そしりが降りかかった」としても、主イエスは「自分を愛するように隣人を愛」し、担う姿勢を貫きました。

神は私たちを義の道具として用いようとしてくださいます。そしてそのために私たちを執り成し、力を与えてくださいます。ならば、私たちは強い者として、この世の力にもまれ、溺れ、道を失っている者を担い、助け出す存在でなければなりません。「私は律法を持たない人には、律法を持たない人のようになった。その人たちを救うためだ。弱い人には、弱い人のようになった。弱い人を得るためだ」(コリントー9:22)と言っています。この福音の喜びを持つ私たちは、苦しむ人々を理解し、担い、救いに導く使命を担っているのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「私たち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。おのおの、互いを築き上げるために善を行い、隣人を喜ばせるべきです。キリストもご自身を喜ばせようとはなさいませんでした。「あなたをそしめる者のそしりが、私に降りかかった」と書いてあるとおりです。」(ローマの信徒への手紙 15:1～3)

「私は神の律法を持たないのではなく、キリストの律法の内にあるのですが、律法を持たない人には、律法を持たない人になりました。律法を持たない人を得るため



す。弱い人には、弱い人になりました。弱い人を得るためです。すべての人に、すべてのものとなりました。ともかく、何人かでも救うためです。福音のために、私はすべてのことをしています。福音に共にあずかる者となるためです。」(コリントの信徒への手紙一 9:21～23)

神さま、私はあなたを信じる生き方こそ最高だと確信しています。だからこそ、迷っている人を理解し、担い、救いに導かなければならぬことを、この聖句から受け止めました。私に力を与えて、実行させてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (106) 第5章9節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたの誉れを他人に 歳月を残忍な者に渡してしまわないために。」

◎口語訳 「おそらくはあなたの誉を他人にわたし、あなたの年を無慈悲な者にわたすに至る。」

◎新改訳 「そうでないと、あなたの尊厳を他人に渡し、あなたの年を残忍な者に渡すだろう。」

「残忍な者」

あなたの歳月とは、その人の一生を指しますので、『よその女』の誘惑に負けてしまったら、あなたの一生が台無しになるぞ」と警告しています。「よその女」の単独犯ではなく、「よその女」が「他人」や「残忍な者」と共謀して、その人を陥れるからです。

口語訳では残忍な者を無慈悲な者と訳しています。ここで使われているヘブライ語は、調べてみると聖書の中で8箇所しか使われていません。そのうちに箴言に4箇所(5:9、11:17、12:10、17:11)、イザヤ 13:9、エレミヤ書に3箇所(6:23、30:14、50:42)の内訳です。それぞれを見て見ると、箴言では「残忍」、エレミヤ書は「残酷」と訳していますが、イザヤ書では主の日においてもたらされる「容赦ない憤り」となっていました。

この世で起っている犯罪は模倣に模倣を重ね、重ねていく中で凶悪化していきます。家に

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵(1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵(10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵(22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉(22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉(25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉(30:1～33)
 - d レムエルの言葉(31:1～31)

入ってその人の財産を奪い、殴り倒すだけではなく、命をも奪ってしまう。それを平然と、情け容赦なく実行していきます。人間の血が流れているのかと疑うような凶行を繰り返すのですが、「よその女」はその者たちとつながっており、その関係から、自分の人生が台無しになる結果がもたらされる、気がついたときには取り返しの付かない状態になっているわけです。

この世の力は多くの人を残忍かつ無慈悲に変貌させています。罪の力の恐ろしさを気付かなければなりません。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第32編5節「私はあなたに罪を告げ 過ちを隠しませんでした。私は言いました『私の背きを主に告白しよう』と。するとあなたは罪の過ちを 赦してくださいました。」◆私たちはあやまちをしてかす。だが、神は、すぐさま「おまえは地獄行きだ!」などと言われない。静かに悔い改めることをお待ちください。なぜすべてをご存じの御方の前に、しらを切ろうとするのか。それこそ愚かしいことである。覚悟を決めて、あらいだらい神の前に悔い改めよう。「その時」、神は私たちの罪をきよくしてください。

●賛美 / 132 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第33編16節「王は軍勢の大きさによって救われるのではない。勇者は力の大きさによって助け出されるのではない。」◆旧約聖書、特に列王記、歴代誌などを読んでみると、この言葉を思い出す。ヨシヤ記のアイを攻めた時の失敗もまた同様だが、神が共におられることこそ勝利の条件である。私たちは何に頼っているか。人や物ではない。いくら自分が用意万端整えても、神が不在ならば、その計画は崩れていくだろう。神に祈りつつ、信仰を整え、準備すべきを準備してのぞんでいくことで、ことはなるのだ。

●賛美 / 133 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第34編6節「主を仰ぎ見る人は輝き 辱めに顔を伏せることはない。」◆自分の恥ずかしい経験を思い起こしてもらいたい。それは自分の高ぶりを砕かれる時である。いつもそのようなことを体験している人は、自分を知らない、傲慢な人だということになるのかもしれない。主を仰ぎ見る、とは自分の身を低くすることだ。神がすべての規準であり、それを知ることで自分には救いが必要なのだと神を求める姿勢でもある。私たちの悩みを自分で解決するのではなく、「心を砕けた者」「たましいの悔いぐずおれた者」となる。

●賛美 / 134 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第35編22節「主よ、あなたは御覧になりました。黙っていないでください。わが主よ、私から遠ざからないでください。」◆苦難の詩である。「私の命を狙う」者がいて、「穴を掘る」者、「悪意のある証人」も登場する。彼らは「私がよろめくと喜んで集まってくる」。しつこくつきまとった。こんな屈辱、こんな悔しいことはない。しかし、詩人は忘れなかった。「神さま、すべてをご覧になっていましたよね」。そうである。誰も見ていない、誰もわかってくれないではない。神が見ておられる。そして、だからこそ、お救いくださるのではないか。

●賛美／135 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第36編10節「命の泉はあなたのもとにあり あなたの光によって、私たちは光を見ます。」◆ダビデはどれだけの苦難を受けたことだろうか。どんな時も、どこかで陰謀を企んでいる者たちがいるのではないかと、心安まることはなかったかも知れない。心配し始めると、際限なく心配事が浮かび上がってくる。だが、そんな時、彼は「命の泉」のもとに行き、そこで満ちあふれるほどの命をいただき、日光浴をするように、神の光を受けて、その暖まりと恵みを実感し、力をいただいた。救いは神のもとにある。

●賛美／136 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第37編1～2節「ダビデの詩。悪をなす者に怒りを燃やすな。不正を働く者を妬むな。彼らは草のように瞬く間に枯れ 緑の若草のようにしおれる。」◆「人間関係に心を悩ますな。この世の者にねたみを起こすな」。そう言われても、実際にはなぜ悪い奴らがいい思いをしているのだと憤慨することは多い。だとしても、聖書ははっきり言っている。彼らは必ず衰える。必ず枯れる。なぜか。神とつながっていないからだ。草刈りをしたら、栄養分が切れるのだから、投げ出された草はみるみるうちにしおれる。当たり前だ。私たちはその必然を見つめるべきである。

●賛美／416 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第38編3節「あなたの矢が私を射抜き あなたの手が私の上に降りて来ました。」◆ダビデの悔い改めの詩編と言われている中の一編。どうもダビデは病に陥ったと思われる。すると、病床でダビデは自分の悔い改めていなかった罪を思い起こしたようなのだ。私たちはどうだろう。病気になった時、原因がわからない、いやな痛みに襲われた時、「死」を思わずにおれないのではないか。そして、自分の罪をさぐり始めるのだ。そのように導かれたら、悔い改めるがよい。その機会を与えられたことに感謝し、罪の赦しの確信を得よう。

●賛美／137 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【しとげんこうろく 2:1 ~ 13】

「せいれいが くだる」

(しとげんこうろく 1 : 8)

イエスさまは でしたちに「ぜんせかいにでていって、ふくいんをつたえなさい」とおっしゃいました。これはイエスさまのじゅうじかとふっかつをみて、しんじたひとたちがたふされたイエスさまからのめいれいでした。

でも、いまのままの でしたちには、そのちからがありませんでした。それがわかったのは、イエスさまが てんに のぼっていかれてからでした。つたえなければ、とだれもが おもっていたのですが、ひとのめをおそれて、だれも そとに いくことができませんでした。みんなたいほされるのではないかと、いじめられるのではないかと おもい、イエスさまのじゅうじかとふっかつの できごとを はなせなかつたのです。

そんなとき、イエスさまが いったことを おもいだしました。「ちからを うけるまでは み

やこにとどまっていなさい」。そしてこうもいわれました。「あなたがたのうえに せいれいが くだると、あなたがたは ちからを うける。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアのぜんど、さらにちのはてまで わたしの しょうにんとなる」。 でしたちは、せいれいが くだって、ちからをうけられるようにと いのりました。

ごじゅんさい という おいわいの ひが きた ときのことです。おなじところにあつまっていると、とつぜん、はげしいかぜが ふいてくるようなおとが てんから おこり、ほのようなものが わかれて、そこにいた ひとりひとりのうえにとどまりました。みんなが せいれいに みたされた のです。そして、せいれいを うけたひとたちは、すぐに いろいろな ことばでイエスさまを あかししはじめました。それを見ていたひとたちは おどろきました。みんな ガリラヤのひとたちなのになぜ じぶんのくのに ことばを はなせるのだろう。それが せいれいをうけた しょうこでした。みんなイエスさまを あかしする ちからをうけたのです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまは てんに のぼられるとき、 でしたちになんといいましたか。(しとげんこうろく 1:8)

☆ごじゅんさいの とき なにが くだってきたのですか。(しとげんこうろく 2:3)

☆せいれいを うけたとき、みんなは どのようなことを しはじめましたか。(しとげんこうろく 2:4)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

おびろきあやしんだ

							お	だ
だ	ん	し	お				ろ	や
ろ	き			だ				し
お		き	あ	ど	や	だ	し	
							ろ	
や	だ	ん	ろ	し	き			
	や	だ			ろ	し	き	ど
						あ	ん	
	し			き				お

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① たばこくのこと
- ② はかいしげせ
- ③ とんぜつ
- ④ すぽんと

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「アイス」

ご存じのように私はアイス、特に井村屋の「あずきバー」が好きで、真冬でも欠かさず食べています。かなり人気があるとみえて、冬でも、他のボックスアイスに霜がかぶっていても、「あずきバー」の箱は「今店頭と並べました!」というかんじで元気ですから、出方が違うと思います。

夏に向けてでしょうか、電車のドア広告に「ガリガリ君」の限定販売のお知らせが出ていました。私は歯が悪いせいもあって、なめて食べる派なので

が、ガリガリ君は、とけやすく、なめていると棒を伝ってたれてきてしまいます。へたをすると半分くらいでストンと下に落ちてしまうこともあるので敬遠してしまいます。でも、限定となると食べたくなるもので、発売日当日ではありませんでしたが「ガリガリ君 リッチ フルーツ フェスティバル」をセブンイレブンで見つけ、食べてみました。おいしかったのですが、「安さ」が売りのガリガリ君とは別物の高級感がありました。ガリガリ君は棒アイスでも人気があり、どのランキングでも5位以内にはいっています。もちろん、我が「あずきバー」も、そしてお気に入りの「パリパリバー バニラ」も「ガツン、とミカン」も同様でした。今回は、だからなんなんだという話題になってしまいました。すみません。

聖書ふれあい街歩き

●エサウの山

オバデヤはエドムに向けて神のメッセージを語りました。エドムはイサクの子で、ふたごの兄エサウから出た民族です。イスラエルとなった弟ヤコブと敵対する関係が続くことになるのですが、エドムについて語るとき、「エサウの山」とも呼びかけられています。死海の南からアラバ渓谷にかけて広がる山岳地帯を指していますが、現在のヨルダン、インディー・ジョーンズで有名になったペトラ周辺を中心とする地域だと考えられます。エサウはセイル山地に住んだとあります（創世記 36:8）ので、この「セイル山地」がそのまま「エサウの山」と呼ばれるようになります。

私がこの地域を訪れたときは夕暮れに近かったのですが、西日があたって、草木の生えていない山全体が赤く染まっていました。まさに「エドム（赤い）」でした。見るからに不毛のような岩山で、生活するには厳しいのですが、その裂け目や高地に町を築くことで、防御に強い町を形成していきました。ペトラなど岩山に囲まれた都市は、外敵から守られやすい天然の要塞だったのです。オバデヤでは、そのような高い山に守られているという慢心や過信が高ぶりを象徴し、それがさばかれています。

ななめ聖書 先週のこたえ

い	た	し	を	あ	か	る	す	わ
る	か	す	し	い	わ	た	あ	を
わ	を	あ	る	す	た	い	し	か
す	い	る	た	わ	し	か	を	あ
し	わ	か	い	を	あ	す	る	た
た	あ	を	す	か	る	わ	い	し
を	す	わ	か	し	い	あ	た	る
あ	る	い	わ	た	を	し	か	す
か	し	た	あ	る	す	を	わ	い

- ①わたしのこひつじ
- ②りょうて
- ③さんどめ
- ④しょくじ



パウロの弁明

そこで、パウロは最高法院の議員たちを見つめて言った。「兄弟たち、私は今日に至るまで、あくまでも良心に従って神の前で生きてきました。」

すると、大祭司アナニアは、パウロの近くに立っていた者たちに、彼の口を打つように命じた。

パウロは大祭司に向かって言った。「白く塗った壁よ、神があなたをお打ちになる。あなたは、律法に従って私を裁くためにそこに座っているが、律法に背いて、私を打て、と命令するのですか。」

近くに立っていた者たちが、「神の大祭司を侮辱する気か」と言った。

パウロは言った。「兄弟たち、その人が大祭司だとは知りませんでした。確かに『あなたの民の指導者を悪く言ってはならない』と書いてあります。」(使徒言行録23:1~5)



最高法院の様子

【その口を打て】

パウロは最高法院の議員たちの前に立ちました。詳細な様子が記されていませんので、促されたことだったのかわかりませんが、まず自分から発言しています。その一声は「私は今日に至るまで、あくまでも良心に従って神の前で生きてきました」でした。

自分の生き方を表明したのであって、特に問題はないと思うのですが、この発言を聞いた大祭司は激怒し、「パウロの口を打て」と命じたのでした。なぜ大祭司はパウロの発言に反発したのでしょうか。

まず、ここに至るまでのパウロに対する悪評が一因だったと言えます。ユダヤ人指導者たちから見ると、パウロは裏切り者です。ファリサイ派にあって将来を囑望され、次代を担うエースでした。回心しなければ議員席に座っていた可能性もある人物だったのに、彼らからすれば律法遵守の生き方を否定したイエスを救い主メシアであると宣べ伝え、選民にのみ語られたと考えている神の言葉を外国に行って、しかも滅ぶべき対象である異邦人に伝えている。これは許しがたい律法違反であり、神のみ旨に背いているとしか思えない行動でした。そんなパウロから「良心に従って神の前で生きてきました」と聞いた途端、瞬間的に「このやろう！この場に出てもなお、そんなことを言っているのか」と感じてでしょうか、「私は神の前に正しく生きてきたけれど、あなたがたはまだ律法に固執し、守れない律法を守るうとしながら生きていくのか」と言われたような、自分たちの生き方に対する当てつけ、挑戦であり、神への冒瀆であると受け取ったのです。自分の生き方に

文句を付けられ、また最高法院の権威まで否定されたように聞こえました。なので、「口を打て」と命じたのでした。

【論戦開始】

パウロも激しい性格の持ち主です。売られたけんかは買わなきゃならぬとばかり、大祭司に向かって「白く塗った壁よ！あなたのほうが神に打たれるぞ」と言い放ちます。議場は一気に殺気立ちます。

パウロが言った「壁」ではなく、主イエスは、律法学者やファリサイ派の人たちが外見は敬虔にふるまっているが、内面は自己中心で腐敗しているという意味を込めて「白く塗りたる墓」と評されています(マタイ23章)。パウロも同様に指導者たちの偽善を批判したことがわかります。

当時、汚れた部分を石灰を使って「白く塗る」補修が日常的に行われていました。特に過越などの祭を迎える前には塗り直されていたようです。墓などは、人がうっかり触れて汚れるのを防ぐためでもありましたので、塗る必要があったのです。

主イエスは「墓」、パウロは「壁」と言っていることから、この「白く塗りたる」は当時、使われていた慣用語であったことが考えられます。少なくとも誰でも理解できる強烈な皮肉だったはずですが、日本語でも「見かけ倒し」「みえっぱり」「ええカッコしい」とか「張り子の虎」などの表現がありますが、「白く塗りたる」はそれ以上の強烈なインパクトを放っています。

パウロの言葉を聞いて大祭司は怒り心頭、理性も失い欠け、顔は真っ赤にして、パウロをにらみつけたのではないかと想像します。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

